

令和2年度学校関係者評価票

学校名：歯学部附属歯科技工専門学校

【学校関係者評価の主な評価内容】

○自己点検・評価結果の内容が適切かどうか ○自己点検評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか ○学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

評価項目	専門学校による自己点検・評価		学校関係者評価				
	取組状況・評価に対する意見	取組評価	取組状況・評価に対する意見等	優れている点、継続してほしい点	問題点・要望等	その他意見等	取組評価
カリキュラムポリシーに基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	教育課程編成・実施の方針に基づき、理解度や経験に合わせて、入学時から卒業時までの一貫したカリキュラムの中で実施し、個々の授業科目の内容及び方法は、授業計画（シラバス）に明示している。授業は全て、必修科目である。	A	教員が学生を注視し、授業計画に沿って指導している。 各学年において個々の授業科目の内容及び方法が明確にされており本年度の授業も計画通り遂行されている。	授業における学修到達目標が明確でわかりやすい。 個別指導が行き届いていると感じた今後も継続していただきたい。	コロナ禍での授業体制(予防対策)に十分注視していただきたい。	前例にない環境(コロナ禍)で教育活動を継続されており感謝いたします。	A
成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに基づき、定期試験・実習試験等を行いその成績において単位認定のための評価を行っている。授業計画（シラバス）において成績評価の基準とその比率を明示し、学生の授業への準備・受講への一助としている。また、定期試験・実習試験等を行いその成績において卒業判定のための評価を行っている。卒業が認められた者には、卒業証書が授与され、歯科技工専門課程歯科技工士学科を修了した者には、専門士の称号が授与される。	A	各課程で試験を行い、的確に行っている。 学科試験、実技評価が定期的に実施され成績評価の基準が明確にされており、各学生が確実に進級・卒業へと導かれている。	成績評価を明示しアドバイスを続けて欲しい。 カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに基づいた人材育成の継続していただきたい。	現状のカリキュラムを今後も遂行していただきたい。	特になし	A
ディプロマポリシーに明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	学修成果の多角的評価方法として、国家試験合格率や就職率で評価を行っている。	A	個々の学生に対して正しく行われている。 決められた単位数を修得し歯科技工士としての専門知識と技術が備えられるよう教育されている。	評価の基準を定め、解りやすく評価している。 引き続き国家試験合格率の向上に努めていただきたい。	国家試験合格率100%達成	特になし	A
教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	設置基準上必要教員数は3.6名である。現在の教員構成は以下のとおりである。60歳以上 2名、40～36歳 2名 計4名。学年ごと担任が授業を受持っているが授業科目によっては、歯学部各専門講座の教員から推挙された者が担当している。	A	3名の専任教員と歯学部教員で適切に授業が行われている。	歯学部、各専門講座の教員からの授業を継続してほしい。 歯学部教員からの講義も専門的な知識を身に着ける上でとても良いことだと思う。	学生数が増加した場合は現状の教員体制では少ないのではないかな。	特になし	A
【重点目標】 国家試験の合格率向上を目的とした教育内容の充実	学説試験対策として、6月下旬から実力試験を8回実施し全員を対象に補講、特別補講、さらに成績不良者を対象に国家試験直前まで補講を実施している。実地試験対策として9月下旬から2月下旬まで実習を行い、成績不良者を対象に補修を実施している。さらに10月上旬から全員を対象に実習実力試験を2回実施している。第6回、第7回の実力試験終了後には成績不良者を対象として、教務主任及び校長が面談をして、勉学意欲の向上及び実習技術の向上を図っている。	A	国家試験の合格に向け計画的に準備教育され個々に対しての指導も徹底されている。 適切に行われている。	P Cソフト(満点教室)の活用は学生個々の習熟度の確認にもなりとても良いと感じるので今後も継続していただきたい。	実技訓練の時間が確保しにくいのではないかな。	特になし	A
【重点目標】 募集定員充足のための活動	H P更新を頻繁に行い、画像などを多く使用し、見やすさ読みやすさを徹底する。ブログでの情報発信の回数を増やしていく。学校訪問を充実させる。契約しているモバイルサイトからの分析結果を有効に利用し、資料請求者に文書を送り再度アプローチを試みる。同窓会や歯科技工所等へ入学希望者紹介の依頼文を発送し、入学者確保に努めている。	B	募集定員充足の為に数多くの手段を用い情報発信が行われている。総合型選抜（AO入試）が導入されている。 積極的に行っている。	卒業生からの多方面からの情報発信を継続していただきたい。	夜間課程に通いたい学生が少ない。	昼間課程二年生制の改組が望まれる。 卒業生の人脈で卒業高校での学校紹介を実施依頼しては如何でしょう。	B